

## 「美術史」レポート試験について

- ・ 課題内容について

授業内で取り上げた作品、または作家のうち関心を持ったものについて自ら調べ、

①作家、作品の美術史的な位置づけ

②代表的な作品についての解説と自らの見解

③これまでその作家、作品について行われてきた研究

について記しなさい。またレポートの末尾に、その作家、作品についてこれまで行われた研究を、参考文献表として記すこと。この参考文献は、このレポート執筆にあたって参考にしたものだけでなく、これまでに行われているすべての研究を網羅するよう努力する事。

- ・ 体裁など

①字数は2000字以上4000字以内（但し註釈は文字数に含みません）

②手書き（ワープロソフトなどの使用不可）で原稿用紙（市販のものでも本学指定のものでも可。サイズはA4）を用いて記すこと。但し、参考文献表に関しては、ワープロソフトの使用を認めます。この場合は用紙も任意のA4の紙でかまいません。

③註釈をつけること ←註釈ではレポート本文の内容を補足したり、出典を記したりします。引用を行った場合、参考にした場合の文献名もここに記します。

④参考文献表を作成すること

参考文献表の表記は、以下のとおりとします。

単行図書の場合：著者名『書籍名』出版社、刊行年

雑誌等掲載論文の場合：著者名「論文タイトル」『掲載された雑誌等』巻や号、刊行年月

←インターネットサイトの記載は、参考文献に含みません。

- ・ 注意事項

①インターネットサイトから転記することを禁じます。これは「<sup>ひらうせつ</sup>剽窃」といい、犯罪です。

「剽窃」の意味：「他人の作品や論文を盗んで、自分のものとして発表すること。「他人の論文を一する」

Goo辞書 (<http://dictionary.goo.ne.jp/leaf/jn2/187932/m0u/>) 20121203 参照

②本文の内容はもちろんですが、註釈や参考文献表が充実しているかどうかを評価基準とします。

③註釈、参考文献表の付せられていないレポートは、これを評価の対象とはしません。

- ・ その他

提出日、提出先については、掲示を見ること。